

特別講演

癒しのための家族看護モデル：病いと苦悩、スピリチュアリティ

ロレイン M. ライト Lorraine M. Wright, RN, PhD

カルガリー大学看護学部

この特別講演では、重い病を患う家族に、どのようにしてスピリチュアリティ（精神性）とスピリチュアルケア（精神的ケア）を提供するかに焦点をあてる。精神性とは健康と疾における中心的役割のひとつを担うことが明らかであるにもかかわらず、臨床実践では、精神的な領域がしばしば怠られたり、忘れられたりしている。

病や苦悩は、人を人生の精神的領域へ導く。看護師は、深刻な疾病や死、依存症や虐待、環境またはテロリストによる惨事を経験している家族に、精神的な感受性を持って接しなくてはならない。しかし、どのような精神的会話や実践が治癒を促進したり、あるいは逆に治癒を抑制したりするのであろう。

「トリニテイ・モデル」という新しいモデルは、家族との臨床実践における精神性を理解するための包括的な概念的枠組みである。加えて、家族が治癒を始めるのを可能にするため、看護師がいかに、精神性と苦悩に関する会話のための空間を提供できるかについて臨床的指針を提案する。

Wright, L. M. (2005). *Spirituality, suffering, and illness : Ideas for healing*. Philadelphia : FA Davis.

Wright, L. M. & Leahey, M. (2005) *Nurses and families : A guide to family assessment and intervention (4th ed)*. Philadelphia : FA Davis

Wright, L. M. , Watson, W. L. & Bell, J. M. (1996). *Beliefs : The heart of healing in families and illness*. New York : Basic Books.